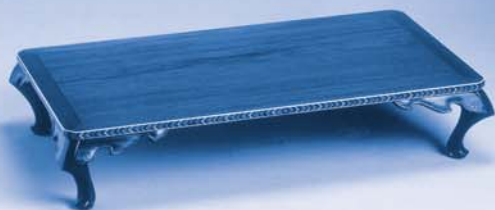


彩遊祭楽

三谷市民文化振興財団ニュース



イベント情報

高浜七年祭

6月23日(日)～29日(土)
場所:福井県高浜町 佐夜治神社

6年に一度開催される高浜七年祭。神輿巡幸を中心に、曳山芸能、太刀振、神楽、お田植、俄などの各種芸能が、連日連夜7日間にわたり繰り広げられます。7日間の旅を終え神社に戻った神輿は、鳥居浜海岸へ巡行し「足洗い」で祭りのフィナーレを迎えます。



◎若狭高浜観光協会 ☎0770-72-0338

恐竜の世界を光輝くイルミで演出「ジオ・イルミネーション」

7月1日(月)～11月4日(月・祝)
場所:スキージャム勝山

北陸最大級のイルミネーションがスキージャム勝山に登場。福井県と勝山市らしさを代表する「恐竜の世界」をコンセプトに、46億年前の地球誕生から恐竜が栄えた中生代までを6つのエリアに分け、約60万球の光輝くイルミで表現。神秘的な世界を堪能できます。

※写真はイメージです。



◎スキージャム勝山 ☎0779-87-6109

サントペテルブルグ国立舞台サーカス

7月24日(水)
場所:越前市いまだて芸術館
料金:全席指定
おとな2,800円、
友の会2,300円、
3歳以上小学生以下2,000円

※3歳未満は膝上での無料鑑賞可

ハラハラ・ドキドキがいっぱい!
ロシア仕込みの本格的芸術。空中ブランコやピエロの曲芸、アクロバットなど、楽しい夏休みの思い出に!

◎越前市いまだて芸術館 ☎0778-42-2700



福井フェニックスまつり

8月2日(金)～4日(日)
場所:足羽川河川敷、中央大通り、
福井市営競輪場他

オープニングを飾る花火大会は全国でも珍しい「まちなか」で見ることが出来る花火。真夏の夜空を鮮やかに彩ります。

2日目は色とりどりの衣装で踊りを繰り広げる「民謡・YOSAKOIイッチョライ」、3日目は音楽と演舞が華やかにシンクロナする「100万人のマーチング」など、楽しいイベントが盛り沢山です。



◎福井フェニックスまつり実行委員会 ☎0776-20-5325

一般財団法人 三谷市民文化振興財団

〒910-8571 福井県福井市豊島1-3-1 三谷ビル
TEL: 0776-20-3188 FAX: 0776-20-3306

2019年5月発行・このニュースに関するお問い合わせは、☎03-5791-1112 ホービスト(株)まで

ふくいの無形文化財

糸崎寺 糸崎の仏舞 西暦の奇数年の4月18日

福井市糸崎町の糸崎寺で隔年(西暦の奇数年)の4月18日に開催される舞楽で、1200年以上の歴史を誇る。祭り当日は観音堂の正面に設けられた舞台で、金色の仏面に黒い法衣の「舞い仏」、金色の面に青い法衣の「念菩薩」、白い童面に白い法衣の「角守り」が、太鼓と鉦に合わせて舞を繰りひろげる。この舞には、仏の慈悲と喜びを分かち合うという意味が込められており、天平勝宝(749～759年)の頃、唐僧禅海上人が自国の青王山の景勝に似たこの地で千手観音菩薩像を奉納したところ、大勢の観音菩薩が集まって舞い踊ったのがその由来と伝えられている。(福井市)



ふるさとめぐり

第11回 南越前町

伝説

…夜叉ヶ池の伝説(南越前町)…



大早魃に見舞われ困り果てていた郡司の安八太夫安次は、草むらの中に小さな蛇を見つけ「もしそなたが雨を降らせるのなら、私の娘を与えよう」と語りかけた。その蛇は掛斐川上流に住む龍神で、たちまちのうちに雨雲がかかって大雨が降り、村は救われた。龍神に嫁いだ安次の次女の夜叉は、再会を願う安次の前に

🚗 夜叉ヶ池に行く

夜叉ヶ池

■住所:北陸自動車道 今庄ICから車で40分。登山口より徒歩で120分

句牌

あすの月
雨占はん
ひなが嶽 松尾芭蕉



「明日の名月は雨か晴れか、あのひなが嶽のたずまいで占ってみよう」。
芭蕉は敦賀で一夜に15句詠んだ(芭蕉翁月一夜十五句)と伝えられており、この句はその中のひとつである。

🚗 句牌に会いに行く

北陸自動車道・南条SA(下り)

■住所:福井県南条郡南越前町上野

一般財団法人 三谷市民文化振興財団 助成団体募集!!

募集期間：2019年10月1日～11月30日

一般財団法人 三谷市民文化振興財団は、福井県内におけるボランティア活動、スポーツ活動、市民文化活動の振興を通じて「こころ豊かな地域づくり、社会づくり」に貢献することを目的として、2019年度の助成団体の募集を行います。

募集の要領

- 助成の対象分野
 - ・ボランティア活動
 - ・スポーツ活動
 - ・市民文化活動

●助成の対象となる団体

■営利を目的としない次の条件を満たす団体

1. 福井県内で活動している団体
2. 会員が5名以上の団体
3. 設立1年を経過している団体
(2018年10月以前に設立したもの)
4. 特定の資格・経歴等の条件を必要としない、個人で加入できる民間の団体

●助成金額 1件あたり約20～30万円

●応募方法 所定の申請書をご郵送またはご持参ください。

●結果連絡 選考委員会による審査で決定し、2019年12月末までに団体代表宛に連絡いたします。
(採否の理由に関するお問い合わせには応じ兼ねます。)

●助成金贈呈時期 2020年1月上旬

上記より詳しい募集要領がございます。
以下にお問い合わせをしてから、ご応募ください。

まずはお問い合わせを!

★ホームページから募集要領を読む

三谷市民文化振興財団のホームページへアクセス
<http://www.mitene.or.jp/m-zaidan/promo.html>
または検索エンジンで!

三谷市民文化振興財団

検索

★お電話で募集要領を取り寄せる

☎ 0776-20-3188 (一助) 三谷市民文化振興財団



■連絡先 殿下被災者受入委員会 竹原 090-7485-1133

人々の記憶は時とともに風化しがちだが、現在の福島では未だに原発事故の影響が大きく残っており、特に子供は屋外での遊びなどが制限され、心身ともに影響が大きい。同会では子供たちの心と体に保養を与えることを目的に、海水浴、川遊び、バーベキューなどを豊かな自然の中で楽しんでもらうサマーキャンプ「殿下の自然つるつるいっばい」を毎年開催している。

被災者に対する保養事業は他団体でも数多く行われているが、そのほとんどが現地集合・現地解散である。同会では送り迎えも行うため、受け入れ側の家族と参加者の関係が密となり、活動後の交流が多いのも特徴となっている。

三谷市民文化振興財団の助成団体



■連絡先 福井ドリーム同好会 三村 090-1635-2078

ソフトバレーボールは、老若男女を問わず誰もが楽しめるスポーツとして人気が高い。設立10周年を迎えた同会は、会員数70人を擁し、ソフトバレーボールクラブとしては県下で最大の規模を誇る。

毎週日曜日の午後7時から9時まで、小学校の体育館で練習を行っている。設立当初は好成績をなかなか残せなかったが、徐々に技術力、チーム力が向上し、それに伴い好成績をおさめるようになってきた。全国レベルではまだまだ実力不足のため、日々、練習に励む毎日を送っている。

ソフトバレーボールを通じて地域への貢献をという思いから、永平寺町において県内外から愛好家を招き、交流大会も実施している。

福井市

東日本大震災の被災者に安心して生活できる環境を提供 「殿下被災者受入委員会」

福井市

若者から高齢者まで楽しめるソフトバレーボールクラブ 「福井ドリーム同好会」

ブンカのカガミ

目の前に日本海、背後に山が迫る丘の上にあるワタリガラススタジオ。長谷川渡さんは見晴らしの良いこのスタジオで制作するガラス作家だ。

越前海岸沿いの港町で生まれ育った長谷川さんは「テレビ番組で見たガラス作家の所作に心奪われて」その道を目指し、もともと進学した大学を辞めて著名なガラス専門学校へ。20年前はガラスが日用品ではなく作家作品として注目されつつあった時期で、誰もが切磋琢磨して制作に没頭していた。長谷川さんは卒業後働いていた作家のもとで働き、全国のガラス工房で講師や助手を務めて2011年に福井へ戻った。

スタジオに入ると、街かどの風景を影絵のように浮き立たせた花瓶が目に飛び込んでくる。

「私の作品のテーマは影なんです。キラキラするガラスは影を作る一面も持っている。輝きよりもこの陰りが好き。ロマンチックで哀愁のある表現を目指しています。何よりも魅せられたのはガラスの技法。「火」という一つの危険なものを扱う、いや操る面白さというか。吹きガラスはガラスに人の息



火を操り、息を吹き込んで 完成させるガラス作品。 ひかりと陰りを共存させたい 長谷川渡

を吹き込むだけだけど、その危なげでアナログな作業がたまりません。作業は雄々しくとも、仕上げるガラス作品は観る人の郷愁を誘う。

近年、長谷川さんは「福井市越前海岸盛り上げ隊」の隊長としても活躍中だ。「地域の人たちが話し合うたびにどんなアイデアを出しているのかを形にしたい」という皆さんの衝動にガラス制作と共通のものを感じました。その活動は異業種とのコラボレーションや海岸地域でのサマーキャンプを実現させ、盛り上げの芽吹きをのぞかせている。活動地域は過疎化と人口減少が進むエリアだが「私たちは積極的選択でここにいる。常にこの場所で作られるものは何かを考えています」。

この土地で生きて行くとする人々を勇気づけ、ともに歩もうとする長谷川さんの姿勢が形となっていった。



海辺や田中の様子を影絵にした作品。中吹きの色ガラスに模様を描く。



ボトルやグラス、花瓶などさまざまな形を手掛けるが、表現は変えずぶれず。裏に遊び心を足した作品たち。